



ヤングケアラー支援の強化を

川畑 京子議員

問 ヤングケアラー支援コーディネーターの配置については。

答 教育委員会、市長部局及び関係機関が連携を密にして対応している。

問 現時点ではヤングケアラーに特化したコーディネーターは配置していない。年齢によって適切なことのない支援の在り方について、研究したいと考えている。

答 子育て世帯などへの家事・育児支援などは。

問 養育支援員の訪問は、一日4時間以内で週一回、3カ月までを原則とする。

長期支援を必要とする子育て世帯へは、社会福祉協議会やNPO法人が実施している事業の活用を提案するなど、地域資源を活用した支援を考えている。

運転免許証 自主返納者へ支援を

問 高齢者等、運転免許証自主返納者へ敬意を表し、優遇措置などの支援はできないか。

答 返納者へ特化した事業ではないが、外出機会を支援する対策として、お出かけサポートタク



シー事業を展開している。自主返納者へ対する敬意を示す取り組みについては研究していく。



新河岸川の船着場付近へ救助ネットの設置を

金濱 高顕議員

問 夏を迎え子どもたちが水辺に触れる機会が多くなる。特に新河岸川の船着場付近は地元住民の努力によって、子どもたちの憩いの場としてでき上がってきた。

答 夏を迎え子どもたちが水辺に触れる機会が多くなる。特に新河岸川の船着場付近は地元住民の努力によって、子どもたちの憩いの場としてでき上がってきた。

問 河川に落ちた場合、大人でも自力ではい上がることは難しいことから、水の事故を防ぐために投げ込み式救助ネットを設置を。

進期成同盟会において救助ネットの設置について提案したい。また、川越県土整備事務所のほか、関係部署と協議していきたい。

純国産エネルギーを支援する取り組み

問 本市には食品廃棄物をバイオガス化しエネルギーを創出できる経済環境がある。

答 本市には食品廃棄物をバイオガス化しエネルギーを創出できる経済環境がある。

将来構想として、本市で創出されたエネルギーで公共交通が走るなど具体的な目標が必要ではないか。

答 将来的に必要なものはある。市としてどのような純国産エネルギーを支援できるのか、研究していく。



船着場入口



上沢勝瀬通り線道路整備工事

鈴木 美恵議員

問 神明神社前交差点の信号機がなくなる影響は。

答 市道幹線5号線（生活道路）の沿線に住む人が車両で県道に出る際は、経路の変更等の影響が生じることが想定されるが、整備されることにより生活道路への通過車両が減少するため、交通安全性の向上が期待される。

問 また、新規に整備される交差点は幅員の広い歩道や、信号待ちの広い歩道が整備される。



上沢勝瀬通り線整備工事

女性の視点を活かした防災

問 女性防災リーダー育成講座の開催を。

答 女性の視点を活かした各種防災講座や研修会等への参加を促すとともに、市においても、女性防災リーダー育成講座の開催について研究する。

西文化施設における美術展示

問 展示の構想は。

答 1階に約115㎡のギャラリーを設置し、エントランスロビーと一体利用が可能となる。

また、3面ある壁の1面には、ガラス展示ケースを設置。残りの2面には、ピクチャーレール及び可動式の展示用照明を設置し、様々な展示に対応できるよう計画している。



カーブミラー・防犯灯等の転倒対策

原田 雄一議員

問 昨年カーブミラーや防犯灯が倒れる事故があった。子どもや歩行者に当たらずに良かったが対策は。

答 毎年7月に公共施設安全点検を実施し、目視にて損傷状況を点検し、併せて担当課においても4月と12月に点検を実施している。その他清掃を委託している業者においても、清掃時に鏡や支柱の点検を実施し、安全に努めている。

災害対策

問 3Dデータ活用による川洪水浸水想定区域図とは。

答 堤防の決壊等により河川が氾濫した場合の氾濫の広がりや水深を立体的に可視化することで、早期避難や防災意識の向上につなげるものである。

未耕作ほ場(田・畑)の対応と対策

問 一部で未耕作のほ場があり、草が生い茂っている田が見受けられる。市の対応と対策は。

答 年一回農地利用状況調査を実施しているほか、現地調査を実施している。また、毎年8月に所有者及び耕作地に関する調査



新河岸川の護岸改修工事



人口減少を受けた今後の対応

坪田 敏孝議員

問 住んでいる人の満足度を上げ、転出者を減らす施策は。

答 市のまち・ひと・しごと創生総合戦略の中に、「時代に合った地域をつくる」という目標がある。この地域づくりに関して、愛着を持ってふじみ野はふるさとだと思える人が増えるよう、地域力を強める政策を行っていく。

問 若い世代に住み続けってもらうための施策は。

答 地域全体で子育てをし、ふるさとに愛着を持ってもらう。GIGAスクール構想など、先進的な教育環境を整備する。

問 女性活躍推進法では、女性の労働環境向上に関する行動計画の策定が事業主に求められる。



254号バイパス地域の防災交通・地域交流へ協働事業を

鈴木 啓太郎議員

問 国道254号バイパス土地区画整理事業区域の雨水災害対策の現況と調整池整備の展望、期待される効果は。

答 同地域は湛水想定区域とされ、盛土による湛水容量を常時確保することが原則で、さらに調整池の貯留量は、土地区画整理組合、県及び市が協議をし、現況を上回る約10万㎡を確保する計画となっている。

特定外来生物等の除去

問 河川敷を覆い尽くすアレチウリの対策は。

答 市内の環境団体、地域住民が新河岸川流域で地道にアレチウリ駆除に尽力している。また、本市が管理している水路等でアレチウリが確認された場合には、速やかに駆除を行い、適正な維持管理を行っていく。

問 同様にマラソンコースを設置するとか、地域住民との交流、あるいは防災ヘリポートを作るなど、具体的な協働事業を進めては。

答 より良い方向性が見いだせると想定される場合には、協働の取り組みとして企業と連携を図り、提案があれば、それを受けて真摯に検討して取り組んでいきたい。



国道 254 号バイパス土地区画整理事業